

令和7年6月10日
危機管理部

備蓄物資の保管スペースの確保について

1 主旨

区は、地域防災計画に基づき、物資供給体制を強化するため、備蓄物資の保管スペースの確保に取り組むこととしている。このことから、現在の必要な保管スペースを示すとともに、新たに川場村から旧川場中学校の一部を借り受けることとしたため、その内容について報告する。

2 現状と課題

- (1) 区は、地域防災計画において、都と連携して発災後3日分の食料及び生活必需品等の物資の確保に努めることとしており、「震災対策における都・区間の役割分担」（昭和52年合意）により、区が当初の1日分を確保し、都は2日分を備蓄、調達で対処することとしている。
- (2) 区は、上記役割分担に基づき、区内に避難所生活者に対する1日分強の食料を確保しており、都が準備する残りの2日分の食料については、順次都から寄託を受けているところであるが、保管スペースの不足等により、2日分すべてを受領するまでには至っていないことから、避難所への物資供給が困難になることが懸念されている。
- (3) 加えて、生活必需品の備蓄や社会情勢の変化等による多様な品目の備蓄等への新たな対応も必要である。

3 地域防災計画での位置付けと今後の方向性

(1) 位置付け

地域防災計画では、発災後3日分の食料・生活必需品及びテント・ベッド等の多様な物資の確保に向けて、保管スペースの確保に取り組むこととしている。

(2) 今後の方向性

- ① 物流事業者等の専門的知見を活かして防災倉庫内の物資を整理し、スペースの創出に向けた倉庫内の最適化を行う。
 - ② 区所有以外の施設等の活用を検討する。
 - ③ 移転や統廃合等による公共施設後利用等の活用にあたって、スペースの創出について、個別の検討を行う。
 - ④ 令和13年度以降完成予定の上用賀公園拡張事業において、体育館に大規模備蓄倉庫を整備する。
 - ⑤ 区立小・中学校の改築時における防災倉庫の拡張を進める。（避難所運営用防災倉庫の標準面積を50㎡から100㎡に拡充することを想定）
- ※ 現在の必要な保管スペースは、約4,000㎡を想定。詳細は別紙のとおり。

4 川場村からの保管スペースの借受け

(1) 経緯等

令和7年4月より川場小学校と川場中学校が統合し、「川場学園」が開校したことに伴い、既存の川場中学校は使用しないこととなったため、跡地の有効活用として川場村より区に対して提案があり、必要性を検討した結果、備蓄物資の保管スペースとして借り受けるに至った。

※ 川場村とは災害時における相互応援協定に基づき、川場村から物資が配送されること、また、保管スペースの借受費用が安価であることから、当該保管スペースが適正であるとの判断に至った。

(2) 借受場所

旧川場中学校 1階 食堂及び金工木工室

(所在地：群馬県利根郡川場村大字谷地2494)

(3) 広さ

約450㎡

(4) 借受期間

令和7年(2025年)8月1日から令和15年(2033年)3月31日まで

※ 上用賀公園拡張事業における体育館地下大規模備蓄倉庫の整備をはじめ、必要な保管スペースの確保が見込まれるまでの期間を想定

(5) 保管する物資(予定)

① 避難所用テント型間仕切り 6,000台

② 避難所用折り畳み式簡易ベッド 6,000台

(6) 必要経費(予定)

① 賃借料(年間)

・令和7年度 750千円

・令和8年度以降 1,125千円

(内訳) 1㎡あたり2,500円で算出

② 光熱水費

調整中(月々基本料金程度の使用料を想定)

(7) その他

旧川場中学校に保管する備蓄物資は、区が備蓄物資管理業務を委託する事業者(JPロジスティクス株式会社)によりデータ上においても一元管理を行う。

(8) 今後のスケジュール(予定)

令和7年 6月～7月 契約内容調整

8月 契約

8月～9月 備蓄物資(テント、ベッド等)の移送

必要とする区の保管スペース（参考）

区は、現在の全倉庫面積約 6, 0 0 0 m²に加え、約 4, 0 0 0 m²の面積が必要と想定している。

※ 今後の保管スペース確保の取り組み（予定）

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1 防災倉庫最適化による保管スペース創出 | 約 4 0 0 m ² |
| 2 上用賀公園拡張事業における大規模地下備蓄倉庫整備 | 約 2, 0 0 0 m ² |
| 3 公共施設等の活用における保管スペース創出 | 約 1, 6 0 0 m ² |

<追加すべき物資と必要面積（目安）>

種別	役割分担	備蓄物資量	追加物資量	必要面積	保管場所
食料	区	1日分強	—	—	避難所運営用防災倉庫 広域用防災倉庫
	都 寄託物資	約0.5日分	約1.5日分	約1,000m ²	広域用防災倉庫
生活 必需品	区	・毛布（約70,000枚） ・携帯トイレ、おむつ、肌着等：1日分強	・毛布（約270,000枚） ・携帯トイレ、おむつ、肌着等：約2日分	約2,000m ²	避難所運営用防災倉庫 広域用防災倉庫
	都 寄託物資	・毛布（1,000枚）			
テント・ ベッド	区	テント（11,400張） ワンタッチベッド（10,050張） 段ボールベッド（1,350張）	—	約1,000m ² ※	広域用防災倉庫
その他	区	炊き出し用かまどセット 発電機・蓄電池等	—	—	避難所運営用防災倉庫 広域用防災倉庫
合計				約4,000m ²	

※ テント・ベッドについては、広域用防災倉庫の通路等も活用し保管しているが、狭あい化の要因となっているため、倉庫整理や棚卸とともに最適化が必要である。